

## JDFエクスペリエンス(体験)パークについて

CIP4 と Messe Dusseldorf は drupa 2008において「JDF エクスペリエンス・パーク」を発表します。更に大きくなったdrupa イノベーション・パークの中に「JDF エクスペリエンス・パーク」と「JDF エクスペリエンス・シアター」は有ります。

(Dusseldorf、Germany - CIP4 Organizationと Messe Dusseldorf は drupa 2008におけるJDFエクスペリエンス・パークの発表を行いました。)

drupa 2004においておよそ50の出展者が、JDF対応システムとソフトウェアを実演しましたが、それらのほとんどが非常に初期段階のものでした。drupa 2004は「JDF drupa」と呼ばれるぐらい、印刷産業のためのJDF 対応プロセスオートメーションの導入に先鞭をつけました。2004年以来、JDF は世界中の競争心が強い印刷会社にとってのコアテクノロジーとなるための誇大宣伝と思惑をもって動き出しました。

drupa 2008では、JDFの各種プログラムは非常に人気が高く、そして拡大したdrupaイノベーションパーク内において見る事が出来るでしょう。「drupa は印刷業界における主要な変化を最初に見ることが出来るイベントであるという長い歴史があります。」と Manuel Matare (drupa 2008 Project Director at Messe Düsseldorf GmbH) はコメントしています。

「drupa 2008では 完全に成熟したJDF対応製品市場を実感することが出来るでしょう。多くの新しいJDF対応製品は、既に良く知られているシステムや製品の新しいバージョンとして、JDF機能やオプションを備えて来ると予測出来ます。」

新しい、そして革新的なテクノロジーを示すことを専門に行なっている drupa 2008におけるイノベーションパークは Dusseldorf フェア会場の中の Hall7 の全てを使います。drupaイノベーションパークの第一の特徴が「JDFエクスペリエンス・パーク」でしょう。JDFシステムやソフトウェアのデモンストレーションを行う為に各社が集まっているJDFエクスペリエンス・パークでは、他の出展者と共にJDFの相互運用性(互換性)に関しても同様にデモンストレーションを行う予定です。すでに20の会社がJDFエクスペリエンス・パークに参加することを計画し、そして30かそれ以上の会社が JDFエクスペリエンス・パークで JDF対応製品を展示する事の意味表示をしました。

「drupaイノベーションパークでは何時も衝撃的な発見がある、デジタルプリンティングシステムとJDF対応システムは2つの領域の最も新しく革新的な開発を見ることが出来る、そしてしばしばそれらは重なり合った2つの領域です。」と Bernd Zipper of ZIPCON Consulting と drupa Special Events Coordinator は説明しました。「JDFエクスペリエンス・パークそのものには多くの驚きを感じるはずですし、そして多くの印刷会社はdrupaイノベーションパークと JDFエクスペリエンス・パークで終日を過ごすに値する価値を見いだすでしょう。」

drupaイノベーションパークは同じく JDFエクスペリエンス・シアターを優れた特徴とするでしょう。JDF はもう投機的な技術ではありません、そして印刷会社がむしろ JDF がどのように機能するか、そして他の人たちが技術をどうしているかを知りたいことを望みます。JDFエクスペリエンス・シアターは drupaイノベーションパークで、JDF対応の制作ツールでユーザコミュニケーションを最適化して、商用印刷業務とさらに多くのものを自動化し、自動デジタル印刷のような JDF 関連ト

ピックスに関して短いセミナーを行なうために使われる予定です。 JDFエクスペリエンス・シアターは同じくユーザのケーススタディを提供するために使われるでしょう。「JDFエクスペリエンス・シアターで行われるセミナーやユーザケーススタディとともに」、とMark Wilton (Kodak and CIP4's Education and Marketing Officer ) 言う、「能率とスループットを改善する新しい道を求めている drupa 参加者は彼らの疑問である、追加する新しい装置と、稼動している古い装置を最善の方法で使いこなす為のいくつかのアイデアを得、回答を得ることが出来るでしょう。」